

大阪府立
昆虫館

(箕面市)

みゅ〜
ザ・見遊じあむ

9

いつも子どもでいっぱいの昆虫館



ミュージアムメモ

▶所在地/〒562-0002箕面市箕面公園1-18▶入館料/270円、中学生以下無料▶開館時間/午前10時~午後5時▶休館日/火曜日、年末。年始▶交通/阪急箕面駅から徒歩15分▶問い合わせ/072-721-7967

近年、「ムシキング」など昆虫ブームが続いています。大阪府立昆虫館が箕面にあります。箕面は日本でも有数の昆虫の宝庫といわれています。箕面駅から滝に向かう道の途中、駅から10分程度のところにあります。昆虫とクモ、バッタ、蝶々などの区別がよくわからない人でも、じっくり館内を見て回るとよくわかります。昆虫とは①足は3対、②眼は複眼、③頭部、胸部、腹部の三つにわかれている、④羽をもち跳ぶことができる、などが特徴だといえます。名前からして強そうなのがヘラクレスカブトムシ。その名の通りに、力強い太くて大きな角が特徴。いろんな珍しい蝶々が温室で飛び回っているコーナーが放蝶園です。20種200匹があり、手のひらほどの大きい蝶もいました。国内外の昆虫標本を1700種7000点を展示している様子は圧巻です。今年の夏休みには子どもと昆虫採集に思っている方はぜひ一度行ってください。

国内外の昆虫標本を
1700種7000点も

ポセイドン



1973年に日本で公開された「ポセイドン・アドベンチャー」は、当時、ハリウッド映画のエンターテイメントをいかに発揮した映画として大きな話題を呼びました。豪華客船が転覆するさまじさと、危機一髪の脱出劇は、その後の、自然災害やパニックものの映画のさきがけでもありました。

パニック映画の名作が

33年ぶりに復活

船「ポセイドン号」。船内のセンターホールで、新年のカウントダウンが始まったさなか、高さ50メートルもの巨大な波が襲います。船体がさかさまになり、閉じ込められた空間から船底に向かって、10人が決死の脱出に挑みます。CG映像を駆使し、リアルで迫力の大セットのもとで、息もつかせない2時間弱の映画の世界に引き込まれます。もちろん、こんな災害は映画だけのものにしてほしいものです。

船「ポセイドン号」。船内のセンターホールで、新年のカウントダウンが始まったさなか、高さ50メートルもの巨大な波が襲います。船体がさかさまになり、閉じ込められた空間から船底に向かって、10人が決死の脱出に挑みます。CG映像を駆使し、リアルで迫力の大セットのもとで、息もつかせない2時間弱の映画の世界に引き込まれます。もちろん、こんな災害は映画だけのものにしてほしいものです。



大阪の戦跡を歩く

第8歩

疎開道路

(大阪市東成区&生野区)



生野区桃谷2丁目あたり
の疎開道路

大阪市東成区から生野区にかけて、大阪環状線にほぼ平行して南北に走る道路があります。長さは約3キロ。正式には豊里矢田線ですが、地元では今も「疎開道路」の名で呼ばれています。商店街や自治会などの街区図には今もはっきりとこの名称が使われています。この道路は最初、大阪市が第3次都市計画事業街路の中道桑津線として、昭和12年3月に政府の認可をうけ

ましたが、民家の密集地で計画は頓挫。しかし、戦争末期、戦局が不利になり、政府はアメリカの空襲を想定し、人員疎開、建物疎開、施設疎開を実施しました。建物疎開とは延焼をくいとめるためのもの。そして、建物疎開で実施されたのがこの道路でした。大阪市は昭和20年2月から手をつけ、住民は強制的に移動、わずか1カ月足らずで建物を取り壊しました。

撰津

河内
和泉

おおさか
三國誌

9

(大阪市
中央区)

直木三十五と大阪

毎年2月と8月は、日本でもっとも著名な文学賞である芥川賞と直木賞が発表される時期です。ふたつともかつて文藝春秋社の代表だった菊地寛が創設したものです。芥川賞は芥川龍之介にちなんだものでよく知られていますが、直木賞が大阪にゆかりの深い作家・直木三十五の名を冠したものと知っている人は少ないようです。直木三十五は、1891年(明治24)大阪市南区内安堂寺町に生まれました。市岡中学から早稲田大学中退、出版事業、雑誌編集、映画制作、小説執筆と多彩な才能を発揮し、代表作の『南国太平記』で人気作家となりました。小説が売れても、事業で儲けを生んでも、そのときにあるだけの金と財産を遊興に散財したため



3月にオープンした直木三十五記念館

に、私生活では借金がいともつきまとい、43歳で無頼と破天荒な生涯を終えました。菊地寛が大衆小説分野の新人作家の登竜門の文学賞に直木の名を冠したのは、直木三十五が「文藝春秋」の業績にもっとも功績があったことに報いたためといわれています。

「直木三十五」はペンネームで、本名の植村の「植」を分解して直木とし、31歳のとき「三十一」とし、1年ごとに名前を変え35歳のときに「三十五」と名乗り、以降は変えませんでした。今年の3月、生家の近くに「直木三十五記念館」がオープンしています。

朝顔に／つるべとられて／
貰い水

加賀 千代

朝顔はいろんなところに巻き付いて育ちます。井戸の水を汲もうとしたが、朝顔がつるべに巻き付いています。井戸はそのままにして、近所に水をもらいに行く…。こんな下町の風景が頭の中をよぎります。加賀千代は江戸中期の著名な俳人。73年の生涯に1700首を詠みました。正岡子規は「俳人の中で最も有名な女子なり」、室生犀星は「自分の千万語を費やした冗長な小説もこの一句に及ばない」と書いています。

いまも心に響く
名詩・名歌・名語録

私は君の意見には反対だ。
しかし君がそう言う権利は
命をかけて守る

ボルテール

ボルテール(1694~1778。フランスの文学者・思想家)のもっとも有名な言葉で、講演や書物などでもよく紹介されています。フランス啓蒙主義を代表するボルテールは、イギリスの民主主義的な制度や文化に学び、フランスの専制主義を攻撃し、その思想はフランス革命に大きく役立ちました。著書はたえず検閲にねらわれ、著書が焼き払われる判決が下ったとき、「私の本は栗と同じだ。よく焼くほどよく売れる」といったとか。